

米百俵プレイス（仮称）を考えよう！ 第2回市民ワークショップ開催結果報告

平成30年7月26日（木）、米百俵プレイス（仮称）を考えよう！第2回市民ワークショップを開催しました。

今回は30名のみなさんから参加していただき、約半数の人が今回は初めての参加だったこともあり、若干緊張した雰囲気の中でも第1回に続きにぎやかなワークショップになりました。

当日の様子を紹介します。

第1回の内容を振り返りつつ、はじめのワークでは参加者のみなさんが思う「居心地のいいお気に入りの場所は？」について意見を出し合いました。



出された意見 「居心地のいいお気に入りの場所」（その理由）

- ・ 青い空、青い海のまんなか（気分がすっきりするから）
- ・ アオーレ長岡ナカドマ（人がいてまちなかで安心感を感じることができるから）
- ・ 自宅の2階から見える東山（落ち着いてボーっとできるから）
- ・ 居眠りできるような薄暗い場所（うとうとして何なら眠りたい）
- ・ 仕事部屋（充実感を感じることができる自分専用スペースだから）
- ・ 雑踏（少しにぎやかな場所の方が集中できるから）
- ・ マンガ喫茶（だらだらできるし寝れるから）
- ・ 居酒屋（ワイワイ、ガヤガヤしている空間が好きだから）
- ・ 温泉（癒しを感じることができるから）
- ・ 角、隅っこ（現実から離れた異世界、考えがまとまる場所だから）
- ・ コーヒーがおいしいカフェ（日常を忘れることができるから）
- ・ キャンプ場に建てたテントの中（自分だけのパーソナルスペースだから）

ワークショップの後半では、米百俵プレイスのコンセプトと施設配置イメージ図を見ながら、この施設がどんな施設になってほしいかをグループで話し合いました。

出された意見「どんな施設になってほしいか」

- ・寝転べる人工芝の広場があつてのんびりと時間を過ごすことができる施設
- ・その場に居合わせた人が気軽に交流することができる施設
- ・世代を超えた様々な立場の人が出会える施設
- ・立ち飲みや立ち食い、ビジネストークができる施設
- ・普段の生活で感じることのできない“非日常”の体験ができる施設
- ・色々な人たちの活動が見え、気軽に自分もその活動に参加できる施設 など

今回のワークショップでは、参加したみなさんそれぞれが完成後の施設イメージ（こうなったらいいな）を膨らますことができたようでした。



次回（第3回）はいよいよ最終回

9月9日（日）午後2時からNaDeC BASEで開催します。

「この施設によってまちの未来がどう変わるか？」をテーマに話し合います。
最終回も多くのみなさんのご参加をお待ちしています。

担当 中心市街地整備室 松尾、川上
電話 0258-39-2807